

2006年6月13日

いすゞと GM、次世代ピックアップトラックおよび派生車プラットフォームの

共同開発 JV 設立に合意

いすゞ自動車株式会社（以下、いすゞ）とゼネラルモーターズコーポレーション（以下、GM）は、新合弁会社『LCV プラットフォーム エンジニアリング株式会社（LCV Platform Engineering Corporation：LPEC）』を設立し、次世代ピックアップトラックおよびその派生車プラットフォームの共同開発における企画・管理を行っていくことで合意した。

新会社の資本金は1億円で、いすゞ50%、GM50%の出資比率となり、2006年6月下旬を目処に、いすゞ藤沢工場内に設立を予定している。

いすゞ、GMは現行車 "いすゞD-MAX（GM：シボレー・コロラド）"においても、初期段階での共同開発を行ったが、次世代車ではプラットフォームを統合し、LPEC社の企画・管理のもとに共同開発することで、開発コストの低減を図る。

また統合プラットフォームをベースとする車両開発においては、いすゞ、GMの開発リソースを効率的に活用していく。具体的には、いすゞは得意とするピックアップトラック開発を担当し、GMは乗用車・SUVにおけるノウハウを活かし、派生車を担当する。

これらにより、いすゞは次世代車における開発コストの低減および派生車ノウハウの補完が図れ、一方GMは、統合プラットフォームの活用により、そのグローバル・ピックアップトラック／派生車ラインナップを効率的に拡充できる。

いすゞのピックアップトラック（現行車）生産台数は、2003年には16万台規模であったが、2005年には32万台と2年間で倍増しており、今後も更なる拡大が見込まれている。

<参考> LCVプラットフォーム エンジニアリング社の概要

会社名	LCV Platform Engineering Corporation (LPEC)
設立	2006年6月（予定）
所在地	藤沢市

資本金	1 億円
出資比率	いすゞ50%、GM50%
役員	いすゞ3名（CEO 含む）、GM3名
主たる業務	次世代ピックアップトラックおよび派生車プラットフォーム共同開発の企画・管理

以上